

Mランドニュース Vol.183

丹波ささ山校 令和4年7月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

人間がゆるむということは
志がないということ。
志がないと人間はふらつく。

森 信三先生

新時代の幕開け

専務取締役 永井 興喜おきのぶ



令和四年五月二十七日、
篠山自動車教習所は創立
六十周年を迎え、新組織の
Mランド丹波ささ山校が動
き出しました。

新組織は、若い世代の課
長やリーダーを中心に構成
し、新たな発想や若いエネル
ギーを存分に発揮し、これ
からのMランドを担ってくれ
ることに期待を込めて任命
しました。

進化していくMランドの創
造には、各チームのビジョンの
明確化が必要になってきま
す。そのビジョンの実現のため
には課長、リーダー、社員が
個々の役割を理解し、行動
していくことが必要不可欠
となってきます。

こうしてひとつの目標に向
かっていくことで、組織全体
が機能し、百年、二百年と
続く企業へとさらに成長を

遂げていくということ、あ
らためて六十周年を機に、
社員と共有しました。

今回の組織変更を新たな
挑戦と捉え、小河吉彦会長
が掲げられたビジョン「愛の
心で世界中の人々を幸せに
する」ということを新組織の
基、目指してまいります。

顧客チームリーダー
長谷川 泰之



ゲストが「おっっ！」と
驚くホームを目指して

この度、顧客チームのリー
ダーを拝命いたしました。長
谷川泰之と申します。

これまでは顧客チームの
一員として活動してきまし
たが、これからはチームをま
とめる責任ある立場となり
ます。

至らぬ点もあろうかと存
じますが、経験を踏まえゲ
ストのため私なりに精一杯、
努力する所存です。

顧客チームの役割は、滞
在されるゲストの皆様は、快
適な環境を提供することに
尽きます。日々の教習に集
中できるよう、もうひとつの
我が家としてホームを提供
できればと考えております。

環境月である現在、大が
かりなホームの修繕作業を
行なっています。慣れない作
業で苦勞もありますが、仲
間たちと智恵を出し合い、
楽しく取り組んでいます。

「いい加減」ではなく、ゲス
トに感動を与えられるよう
「良い加減」で、誰でも自由
闊達に意見を出し合えるチ
ームづくりを目指します。

営業課 課長
近藤 正幸



入社以来十三年、インス
トクターとしてはもちろん
のこと、営業課に在籍し、自
らの足でさまざまな営業活
動を通し、貴重な経験をさ
せていただきました。

この経験を基に、お客様が
Mランドに何を求めているの
かを考え、更にMランドが時
代のニーズにお応えできるよ
うに努めてまいります。

営業課は二名と三田市の
商業施設内の拠点に三名と
少人数のため、必要があれ
ば他のチームの協力がな
できないこともあります。

一人ひとりが営業マンとい
う意識で、目標達成ができ
ればと考えております。

デジタル化が進んでいる中
で、社員間の情報共有も便
利になりました。これまでの
概念にとらわれず、更に素
早く情報を共有できる環境
づくりをしてまいります。

変えていく部分は時代に
合わせて変化して有効活用
しつつ、デジタルではできない
人と人との直接的な関わり
も大切に、さまざまなことに
チャレンジしていく所存です。

変換チームリーダー
大澤 竜貴りゅうき



この度、変換チームのリーダ
ーを拝命いたしました大澤
竜貴です。

私たちMランドは心を創
る教習所を目指しています。
「愛の心をゲストと社員が
共に育み成長する」、まさに
Mランドの核とも言えるチ
ームであり、このお話をいた
いたとき、正直自分に務まる
のかとすごく悩みましたが、
背中を押されて挑戦してい
こうと決意しました。

また、これまで同チームに
在籍し「校内掃除に学ぶ会」
にたずさわっており、ゲスト
の気付きや成長を目の当た
りにしてきましたが、社内
にとどまらず、毎月の「丹波
篠山そうじに学ぶ会」にも
参加し、地域にも目を向け、
社会に役立つことにも併せて
取り組んでまいります。

これまで先輩たちとゲス
トが培ってきた「挨拶」や「朝
のボランティア活動」、「あり
がとうカード」の取り組みも
大切にしながら、心と心が
行き交うようなMランドに
していきます。

以後、新メンバーで新たな
試みにも挑戦し、更にMラン
ドが活気づいていくよう邁進
していきます。

学びの二日間に

教習・教育課

課長 南勝 宏幸

今年もやってきました！

恒例の「トライやるウィーク」。毎年、元気いっぱいこの地元中学生が、二日間Mランドに職業体験に来てくれます。今年は、中学二年生の團野智紘様、小原田優弥様が「車に興味がある」ということで職業体験に来てくれました。

市内にたくさんある企業の中からMランドを選んでくださり、お越しいただくお二人に、一つでも彼らの将来に活かされるようなものを、Mランドでの体験を通して、持ち帰っていただきたいという気持ちで、二日間の「トライやるウィーク」の日程を作成しました。

今回、私たちが掲げたテーマは『自主性と気付き』とし、自動車教習所の仕事をさまざまな角度から体験してもらいます。

一日目の午前は、職員が付き添い、学科教習を受けている受講生の出欠確認を行なっていました。

「間違えたらアカンで！」と声を掛け合い、何度もある作業が合っているのか二人で確認し行動する姿から、彼らの責任感の強さが伺えました。

午後からは、教習中の二輪シミュレーションを体験していただきました。

お二人に教習生役となってもらい、バイクの動かし方を説明し、私たちの仕事を肌で感じていただきました。

若い感性で操作の吸収も早く、二人目と同じ説明をしようとする、なんとインストラクターかのようにアドバイスをされるのです。



「そうそう、そこはゆっくりと・・・」

教習という体験から、自ら学んだことをすぐさま実践し取り入れてくる順応力に感心させられました。翌日は、教習車の洗車を

「教習車はいつも美しく」。そのことを彼らに伝え、洗車開始。外装、内装はもちろん、見えないところまでピカピカに洗車していきます。

お家でも洗車を手伝っているという彼らは、手際よく洗車を進めていきます。



すき間も道具を工夫して



見えないところこそ

驚いたのは、一人がホースを使い洗車をしているときに、もう一人が自主的にホースのサポートをしたり、見えな

い部分にまで目配りするなど、自ら『自主性と気付き』を体現されていたことです。二日間を終え、お帰りの際には「ありがたうカード」も書いてくれ、二人そろって「楽しかったです！」と言っていただけのこと、担当教諭からは「たくさんのご経験を

させていただいており、彼らがものすごく楽しそうにしています」と、嬉しいお言葉をいただいたことに喜びを感じました。

提示した仕事に対して、相談しながら工夫し積極的に向き合う姿を拝見し、私たちも「成長を続けていかなければ!」、と感じさせても

最善の環境を目指す

「朝活」担当 上山健二

六月も職員で協力しながら、職場を美しくする「朝活」に取り組んでいました。

お客さまにとって美しい環境はもとより、活動によって社員間のコミュニケーション、気付きを高める目的も少なくありません。そして何より、「気持ちが良い」。

出勤後、自らの教習準備やホームの清掃を済ませ、それぞれ担当する朝活エリアに、誰に言われるわけでもなく向かいます。

各班独自のやり方があり、根気強くサンドペーパーでコツコツ床を磨き続ける班もあれば、電動ポリッシャーを

使用し班員総力で仕上げることもあります。



機械の扱いも手慣れた「教習指導員」

特に、使用頻度が多い教室の床は、定期的な清掃作業が欠かせません。

「こだわりの床磨き」で定評の第四班。この日は総出で一氣に実施しました。



機械でも取れないキズはやはり「手」で!

終了後、他の社員が仕上がりを見学に来ると「おお!」との歓声でした。

Mランドがこの取り組みを始めてから八年を迎えます。

さまざまな掃除場所を経験した職員が、知恵を持ち寄り、取り組むようすに安心感すら覚えます。

編集後記

各チームの新リーダーたちが、それぞれの役割に向かう姿の新鮮さと、取り組む「目力」が窺えます。

新しいMランド丹波さき山校がスタートしたことを、感じずにはおられません。還暦を迎え、少し視野が広がったのか、掃除場所も少し広がったような。(徹)



コースのかたわらにひっそり

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

7/3(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:大澤

7/24(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。